西桂町 議会だより

VOL. 50

特集 西桂の町政を考える 議会と区長との座談会 4～7P

一般質問（滝口新一朗議員） …… 11P
① 介護予防事業の取り組みについて

一般質問（宮下友義議員） …… 12～13P
① 予算編成について
② 子供の安全対策について

地域で活躍する団体を訪ねて　糸の音会　15P

Nishikatsura

平成18年1月25日発行

あなたの声を議会に！ 電話 0555-25-2121、FAX 0555-20-2015、Eメール gikai@town.nishikatsura.yamanashi.jpまで
インターネットで議会を傍聴して下さい。http://www.town.nishikatsura.yamanashi.jp/gikai/

創意工夫をもって改革推進を

西桂町議会議長　郷　田　和　美

新年明けましておめでとうございます。町民の皆さまには希望に満ちた輝かしい平成十八年の新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年を振り返りますと、広島、栃木県並びに京都府での痛ましい事件、アスベストによる健康被害の拡大や耐震強度偽装問題等が起きてしまい、社会全体として安全対策の重要性を痛感させられた年でした。

一方では地方自治を取り巻く環境も三位一体改革に伴い厳しい財政状況の中、大きな変革の時代を迎えております。国においては、「経済財政運営と構造改革に関する基本方針２００５」を踏まえ、三位一体の改革を推進していくことから、町に対する具体的な影響を把握し、現実を直視した適切な対応と創意工夫を凝らした諸改革に積極的に取り組み、多様化する諸課題の解決を着実に図っていかなくてはなりません。

地方財政をめぐる状況は、さらに厳しいものとなるとされており、行政の一層の合理化、効率化が求められておりますが、町にとって何が必要であるのか、議会としても、より厳格な姿勢で審議に取り組んでまいりたいとの思いを新たにしているところであります。

依然として地方経済を取り巻く状況は上向きとは参りませんが、この恵まれた自然環境の中で共に暮らす住民の英知により、この難局を乗り切って参りたいと存じます。

最後に町民の皆さまのなお一層のご指導、ご鞭撻をお願い申し上げますとともに、本年が皆さまにとりまして幸多き年となりますよう、心からお祈り申し上げまして年頭のあいさつとさせていただきます。

● 納税組合の存続方法は
● 通学危険箇所は早急に対策を

12月定例会・連合審査会

平成17年度一般会計5号補正予算

問　検診の自己負担金が増えている説明を。

住民福祉課長　肝癌は、当初２１０人（１人千円）。実績３８４人で、見込みより１７４人増えています。その他の検診も、当初に比べ実績人数が増えています。

意見　皆さんの努力が実り、大勢の方が早期発見に向けて検診を受けることは大変すばらしいと思いますので、検診の人数が増えるように努力していただきたい。

意見　第１回手前味噌・味噌汁博覧会で大変戸惑ったと思います。今後、より良い推進をしていただきたい。

企画振興課長　地域の住民の方、７団体の方からも、色々なご指摘等がありましたので、再度、検討させていただきます。

問　老人福祉費、これは毎年入院患者が増えているのか。

住民福祉課長　月平均額は当初の34万が46～47万、その差額分を追加しました。（68・69歳分）。

問　老人福祉費の当初から見込んだ予算編成は出来ないか。

住民福祉課長　前年の実績に基づいての見込みですので、差額はでます。

問　道路橋りょう維持費の電柱の移動、新設３本、90万円の内訳は。

建設課長　３本の電柱（東京電力２本、ＮＴＴ１本）分を計上しました。

問　今年と前年の納税組合数は。

総務課長　以前は42組合、現在37組合で、５組合が解散しました。

問　将来、納税組合の補助をしてもらえるのか。

総務課長　補助金は、現状２％です。当分は、このまま補助金を出していきます。住民等の意識の

夜間も利用可能なテニスコート（ゲートボール大会）

第一回手前味噌・味噌汁博覧会

中で、納税組合を脱退、納税組合そのものが消滅していく場合もあります。今後は検討する課題だと感じています。

意見 納税組合が存続し、税金を収納できる方法で考えていただきたい。

総務課長 来年の納税組合長会議で、組合長さんへ、お話をしながら考えていきたいと思います。

問 教育費のテニスコート管理運営事業は、使用者が多くなっての増額か。

企画振興課長 今までグリーンセンターの電気料で支払っておりましたが、スポーツ施設として支払うことになり、グリーンセンターに請求が来ますので、グリーンセンターで支払った分を後から、一般会計から入れます。

問 土木管理費の公園費について、暫定的な駐車場として利用していきたいとの話ですが、駐車場予定地は大変暗く問題が起きてもおかしくない危険箇所だと思います。安全確保のために、早急に工事をしていただきたい。

町長 大至急、竹・木を切り仮の駐車場にします。自然転圧をしなければならない等、ある程度期間を置いて、出来るだけ早めに工事をしたいと思います。駐車場予定地は雪が降ると非常に危険ですので、すぐにでも発注したいと思います。新年度は出来るだけ早めに工事をしたいと思います。グリーンセンターの上には、33人の小学生がいますので、その子供たちの安全確保のためにも大至急するようにと指示しました。

意見 ぜひ、早急な整備をお願いしたい。街灯をつける等、明るくして、出来るだけ早急に対策をお願いしたい。

建設課長 町長からも、暗がりで非常に危ないので、早急に工事を発注しなさいとの指示を受けています。事故と犯罪を未然に防ぐという意味でも早急に発注したいと思います。

灯油高騰　グリーンセンター会計を直撃

問 一般会計からの繰入の殆どが燃料費だと思うが、灯油のリッター単価が上がっている為か。

企画振興課長 ご指摘のとおりです。

問 当初と現在の燃料費単価は。また、委託料減額の理由は。

企画振興課 当初、燃料はリッター55円で、差額が10円近くです。清掃委託は、自分たちで出来ることは自分たちで努力しました。ボイラーの、ろ過機の清掃は、毎日2回のところを3回にして、負荷をかけないようにして減額できました。

問 委託料については、自助努力が伺えます。今後も努力していただきたい。また、現在、燃料の1日の使用料は。

企画振興課 夏場で300リットル、冬場400リットルです。

12月定例会は平成17年12月9日に招集され、同日に本会議、この後会期中に連合審査会、本会議が開催され、8日間の会期をもって、16日に閉会いたしました。

町長より議決案件4件、補正予算5件が提案され、全ての議案が原案のとおり可決されました。

12月定例会 審議案件

【議決案件】4件

議案46～47　中央市の設置並びに中道町及び上九一色村の区域の一部を甲府市に編入すること並びに上九一色村の区域の一部を富士河口湖町に編入、小淵沢町を北杜市に編入、することに伴う山梨県市町村議会議員公務災害補償等組合規約の変更関連議案

議案48～49　富士五湖広域行政事務組合を組織する地方公共団体の数の減少（増加）及び同組合規約の変更関連議案

○市町村合併に伴う組織及び規約の変更

【補正予算】5件

平成17年度各会計補正予算

○別記説明

考える 区長との座談会

1月12日開催

住民皆様のご意見等を議会広報の紙面に反映させるため、また今後の議会活動に生かすため、「西桂の町政を考える」をテーマに座談会を企画し、住民皆様を代表して、全5地区の区長さんにご出席をお願いいたしました。

平成18年1月12日の新春、新区長さんには任期1年間の抱負と、町政に対する住民の期待を語っていただきました。

新区長・区行政への抱負を語る

司会　本日の司会を務めます議会広報編集委員長の滝口です。住民の皆様のご意見等を議会広報の紙面に反映させるため、今年も座談会を企画しました。

それでは、議会を代表いたしまして郷田議長よりごあいさつを申し上げます。

議長　新年明けましておめでとうございます。本日の座談会をご案内したところ、多忙中にもかかわらず、全地区の区長様にご出席をいただき、誠にありがとうございます。

また、区長様方には、ご就任おめでとうございます。区行政発展のため、町政発展のため、1年間ご尽力賜りますよう、心からお願い申し上げます。

なお、本日区長様方よりいただく貴重なご意見は、議会だよりとともに議会活動に反映させていただきます。どうか、きたんのないご意見をお願いいたします。

司会　さっそく座談会に入らせていただきます。

ここで新春にふさわしく区行政への抱負等を語っていただきたいと思います。

川村区長

倉見区長　倉見区長に就任いたしました川村です。1年間、微力ながら一生懸命する所存でございます。

最初に、倉見区の中央高速道路側道の雑草・ゴミ等の問題、高速道路の雨水が町道へ落下することによる凍結の問題等があり、町から県・道路公団等に要望していただきたい。

また、倉見区でも年々遊休農地が増えているのが現状であり、農家の後継者育成と農業の共同作業化の推進、農業へのボランティア活動への理解を深め、町を上げての農業が少しでも活性化する取り組みが急務だと思われます。

渡辺区長

柿園区長　区民・組長皆様から推薦を受けまして柿園区長に就任いたしました渡辺です。微力ではありますが、区民の皆様の御協力を頂きながら少しでも区の役に立てるよう頑張る所存です。

安富区長

本町区長　本町地区の皆様からご推挙を受けまして区長に就任いたしました安富です。区の代表者として、家庭の中でいえば父親・母親役が務まるようにしたいと思います。地域の方々の意見を参考

老朽化の激しい柿園公民館

特集 西桂の町政を 新春・議会と

にしながら1年間力を尽くして働いていきたいと思います。

3つの抱負といたしまして、①地域の皆さんの相談にのれる窓口をいつでも開け、相談を受けたら行動します。②「暮らし良い地域をつくる本町区」をスローガンに掲げる。③町への要望事項実現に向けて1年間頑張ります。

小澤区長

上町区長　組長さんの要請によりまして、上町区長の重職を拝命いたしました小澤です。1年間地域住民と行政のパイプ役として働かせていただきたいと思っています。区民の皆様からの切なる要望事項の実現化のため、地域、行政、議会の皆様方の英知を集めていただき、1年間努力していきたいと思っています

前田区長

下暮地区長　下暮地地区より区長に推挙されました前田です。微力ながら区民皆様の意見を聞きながら1年間区民の力になりたいと思いますのでよろしくお願いします。

拡幅が待たれる桂川公園進入路

町行政・議会に期待すること

司会　続きまして町行政と町議会に対して望むこととということで、ご意見などを述べてください。

柿園区公民館建設問題に取り組む

柿園区長　柿園区においては、前任区長様より、申し送り引継事項になっております懸案の公民館建設が1番の重要課題です。公民館建設費に対する助成金は継続しているのですか。

議長　公民館建設費に対する助成金は継続しています。しかし、用地については各地区の負担になります。

柿園区長　建設促進委員会が立ち上がっておりますので、多くの皆様のお力をお借りして1日も早い公民館建設に向けて頑張りたいと思っています。

議長　長年の懸案であり、実現に向けて頑張っていただきたい。

柿園区長　柿園区内に建つ病院についての進展状況をお聞かせください。

議長　町より、人工透析の病院ができ、その土地は町が貸すとの議会への報告がありました。また、昨年、医療法人みらい会より、年内に工事着手するとの届け出がありましたが、工事着工については、町に問い合わせたいと思います。

桂川公園進入路の建設を

本町区長　桂川公園沿いの約100mの道路拡幅について、現時点では、3m幅で20～30mおきに待避所をつけてということで、役場とも調整が進んでいるようですが、土地確保等を図り、話を進めていきたいと思います。議員皆様のご協力をお願いします。

次に、町道小沼中央線については、朝の通勤時間帯に猛スピード走っている車がみられます。警察官、安全指導員等に立っていただくとか、速度制限を設ける等、安全対策を考えていただきたい。

次に、公民館を利用した説明会等による、町政と区とのパイプ役を議員さんにしてもらいたい。

議長　桂川公園の進入路については、長年の懸案であり、地権者の合意がまとまった時点からとなりますので、区のほうで地権者の合意をまとめて

平成18年 新春座談会

いただいて町へ申請していただく事が第一前提となりますので出来るだけ早く建設できる方向で区長さんにご努力いただき実現に向けて頑張っていただきたいと思います。

次に、町道小沼中央線についてですが、以前、都町の付近を一方通行にしたらどうか等の話がありましたが、そのまま現在に至っています。再度、議会から町へ進捗状況等確認しながら、出来るだけお役に立てるようにしたいと思います。

次に、町政の情報公開について、議会は行政のチェック機関ですので、区からの要請があれば、議会としても、区民の皆さんに分かる範囲で細かい事でも報告して、意見交換する方向にもっていきたいと思います。区民の皆さんと行政が意見を交換し、情報を公開し合い、足りないことは補い合って、行政の発展につなげる事が、これからの行政のあり方だと思います。

県道富士吉田西桂線建設についての説明を

上町区長　県道富士吉田西桂線建設について、わかっている範囲でご説明願います。

町内の除雪作業の具体的な説明を

次に、町内においての除雪作業についての具体的な説明をお願いします。

次に、町道拡幅改良について、区としては、どのようなことをすればよいかお尋ねします。

議長　県道富士吉田西桂線建設については、道路建設促進委員に議員さん6名・区長さん5名・農業委員さん4名・小中学校長先生がなることになっています。用地買収等、地権者との交渉がすめば次のステップに進みますので、議会としても建設着工に向けて努力していきたいと思います。

次の、除雪対策については、町では、ある程度（約15cm程度）積もれば除雪をするそうです。

次に、町道の拡幅については、町に要望を出していただき、拡幅の必要性が認められた場合、議会でも前向きに検討させていただきます。

副議長　県道富士吉田西桂線建設について、わかっている範囲では、倉見の場合は移転があるので、区民から地権者の用地確保が出来るのか等の説明会の開催を求められています。1月頃から測量を開始し、測量が終了すれば、2回目の説明会が出来るとの確認はしています。

本町区長　除雪対策について、雪が降った場合、最初に主要な道路を除雪していただきたい。また、区から町道・通学路の除雪をお願いする方法を教えてもらいたい。

議長　町では主要な道路から除雪を行なっています。町道の除雪については建設課で行なっていますので、建設課へ要望していただきたい。通学路についても、町へ要望を出してもらいたい。

倉見区長　下水道問題について、倉見公民館から下水道管への配管は、町の補助金がでるのかおききしたい。

議長　公民館の下水道配管については、水道課に確認をしていただきたい。

柿園区長　除雪について、出来る限り、主要な道路以外についても、早急に除雪をしていただきたい。

議長　消防団でも雪が降れば、消火栓の周りの除雪をボランティア活動のように行なっていますので、子供の通学路についてもPTAなどが率先して除雪を行なう等、あまり行政ばかりに期待をしないで、町民全体が、町を良くする、安全な町にするという考えで少しずつ進んでいければいいと思います。しかし、除雪に対して議会としても不公平感のないよう努力していきます。

各地区の町道には、除雪業者の指定がありますので、雪が降れば除雪を行なっています。

滝口（幸）委員　除雪につ

県道の富士吉田西桂線

座談会参加者
（順不同、敬称略）

議　　長　郷田　和美
副 議 長　渡辺　正一
倉見区長　川村　祐二
柿園区長　渡辺　清治
本町区長　安富　英彦
上町区長　小澤　靖弘
下暮地区長　前田　憲則

議会広報編集委員会

委 員 長　滝口新一朗
副委員長　梅原　和男
委　　員　滝口　幸雄
委　　員　若林　泰置
議　　員　勝俣　照雄
議　　員　宮下　友義
議　　員　石原　滋

いては、行政に頼らなければならない場合もありますが、ボランティア精神で区長さんにも頑張っていただきたい。

上町区長　自分の家の前を除雪するのは当然だと思いますが、自分の家から離れている道については、ボランティア活動での除雪では限界がありますので行政の除雪を強く要望します。

本町区長　地域の業者さんのボランティアにより、主要な道路の除雪より先に他の道が除雪されているという話は聞いた事があります。

石原議員　3・4年前までは、町内に業者さんが何社かありましたが、現在1社しかありませんので、都留や富士吉田の業者を頼みますが、出来るだけ早く除雪できるよう町へ要望します。

登校時の町道小沼中央線

小学生等の登下校の安全対策は

柿園区長　最近、悲惨な事件が発生しておりますが、西桂町では、あいさつ運動等をおこなっていて、大変良いことだと思いますので、なお一層の推進をお願いします。

議長　子供の安全対策については、区長さん方々のご協力を賜りながら推進していきたいと思います。

上町区長　小学生は一緒に登校していますが、事件は下校途中に発生しています。

議長　登下校の指導等をしてくださる方に、町より腕章をつけるようにしたいと聞いております。

副議長　学校でも、下校時に近くまで送ってきている対策をとっています。

宮下議員　学校だけでは、十分ではないので町民全体で子供を守るという考えで、区長さんにも、区民の皆様にお願いしていただきたい。

勝俣議員　特に、小学1年生の下校時は、通行人が少なく危険な時間だと思いますので、是非、安全対策の推進をお願いしたい。

遊休農地の活用推進を

議長　最初に倉見区長さんから、農業問題についての話がありました。田が荒廃してくると環境・防災等色々な問題が発生してきますので、団塊世代の退職による高齢者の活用を前向きに検討して行きたいと考えております。

滝口（幸）委員　農業委員会でも遊休農地の活用で、町が保証人となって賃貸をしていますので、農業をしたい方は、町の企画振興課へ申請してください。

議長　この会議を期に、各区長さんにも議会に対して今後様々なご意見を寄せていただき、より良い町づくりにご協力をいただきたいと思います。

司会　貴重なご意見をありがとうございました。

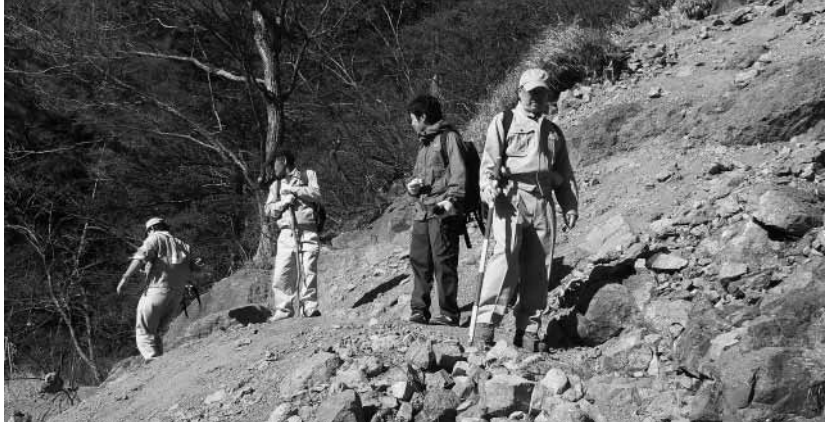
以上で、本日の座談会を終了いたします。

遊休農地を利用してのサツマイモ掘り

不審者対策として、学校・家庭・地域の連携を図る「声かけ・あいさつ運動」を町民の方々にお願いします

前田町長所信表明

平成17年12月定例本会議



三ツ峠登山道土砂崩れ現場視察

『自然との共生づくり』

「三ツ峠登山道整備事業」については、県による三ツ峠登山道危険個所の現地調査を実施しました。

『コミュニティづくり』

「介護予防事業」については、平成18年4月より、要支援・要介護状態になる前から介護予防を推進する地域支援事業の体制を進めてまいります。

『育ち学ぶ環境づくり』

まず**「教育施設の充実と地域開放の推進」**ですが、小・中学校の体育館等の耐震診断は、年度内に診断結果が報告できるよう業務を発注しました。

次に、**「個性を育む学校教育の推進」**については、小・中学校の県研究指定校の「心を耕す国語力向上推進事業」の公開授業を小中学校で行いました。

続いて**「地域ぐるみの青少年育成活動の活性化」**については、不審者対策として児童・生徒の安全について再確認をするよう指示しました。特に小学校においては、保護者の協力体制を整え、学校・家庭・地域の連携を図りました。また、「声かけ・あいさつ運動」を町民の方々にお願いする次第です。

続いて**「生涯学習機会の拡充」**ですが、生涯学習事業では各種教室を開校し、文化祭では、550人の参加で約850点の作品展示がありました。

『活力づくり』

「農林漁業体験交流事業」ですが、第1回手前味噌・味噌博覧会には、町内外より7団体が出展、盛大に開催できました。

続いて、**「三ツ峠グリーンセンターにおける交流拠点の形成」**です。ふれあい館等、さらに充実した施設となるよう努力します。

『ふるさとづくり』

「農業基盤の整備」については、尾尻農道支線新設は、循環できる道路が年度内に完成いたします。

『都市づくり』

まず**「広域的な道路体系の確立」**については、県道富士吉田西桂線事業は西桂町にとって、また郡内地域にとって大変重要な事業ですので、関係者の方にぜひ理解していただき、ご協力を賜り、早期に事業に着手できるようお願い申し上げます。

次に、**「狭隘な道路及び橋梁の改良・整備」**については、町道宮下中野線拡幅は、来年3月までには完成させ、また、町道三ツ峠線入田地区の拡幅工事についても、工事に着手し年度内には完成させたいと考えています。

続いて**「公共施設の整備・更新」**における「都市公園の整備」ですが、町道三ツ峠線沿線に都市

楽しそうなタオル体操（町民文化祭）

12月定例・補正予算の主な内容

会　計　名	補　正　額	補正後の予算総額
議案50　一般会計5号補正	**84万円**	**17億6千526万7千円**
○県単老人医療費助成事業費の追加　148万8千円 68・69歳（県単老人医療費助成事業該当者）の、入院の増加に伴う追加計上です。 ○都市公園管理事業費の追加　180万円 三ツ峠グリーンセンター付近、竹薮整地に伴う追加計上です。 ○道路橋りょう維持費の追加　90万円 町道宮下中野線の電柱（3本）移転に伴う追加計上です。 （追加合計6,962千円、減額合計△6,122千円、補正額840千円）		
議案51　国民健康保険会計1号補正	**1千285万9千円**	**4億174万2千円**
○退職被保険者療養給付費、療養費等の追加　2千65万2千円 11月までの実績に基づいて見込額を試算したところ不足となるので追加となりました。 （追加合計20,748千円、減額合計△7,889千円、補正額12,859千円）		
議案52　老人保健法会計1号補正	**3千511万4千円**	**4億1千160万6千円**
○医療給付費、医療費支給費の追加　3千511万4千円 11月までの実績に基づいて見込額を試算したところ不足となるので追加となりました。 （追加合計35,114千円、減額合計0千円、補正額35,114千円）		
議案53　介護保険会計1号補正	**△200万円**	**2億643万5千円**
○特定入所者介護サービス費の追加　304万1千円 ○居宅介護サービス給付費の減額　△538万4千円 11月までの実績に基づいて見込額を試算したところ減額となりました。 （追加合計3,384千円、減額合計△5,384千円、補正額△2,000千円）		
議案54　グリーンセンター会計2号補正	**221万7千円**	**5千922万4千円**
○施設管理費の追加　226万1千円 灯油の高騰に伴う燃料費の追加計上です。（追加合計2,511千円、減額合計△294千円、補正額2,217千円）		

公園等を利用する方々のための駐車場として購入した用地は、12月補正において、竹等の伐採・伐根・整地工事の予算を計上し、暫定的な駐車場として利用し、整地することで道路の見通しを良くし、車や歩行者の安全を確保し、暗がりをなくすことで犯罪から児童生徒を守る一翼となると確信しています。本格的な造成工事は、来年度予算で実施したいと思います。

一般木造住宅の耐震診断事業は、民間木造住宅20戸について、山梨県建築士協会に依頼し、12月中旬から調査に入る予定です。

続いて**「簡易水道事業の推進と経営の強化」**についてです。簡易水道事業は、現在、第2新高区配水池の建設に向けて、第2配水池の詳細設計を完了し、1月には交付決定を受け、事業に着手します。

続いて**「公共下水道事業の推進」**についてです。下水道特別会計事業については、加入の状況は、280軒中115軒が接続を終えています。

『参加と連携づくり』

まず、**「町民主役の体制整備」**については、区から町への要望は毎年100件前後あり、平成17年は98件を実施しました。

続いて**「情報公開・行財政評価への取り組み」**ですが、行政改革推進本部へのアンケート結果報告、並びに職員及び委員提案の報告、評価を実施したところです。

続いて**「市町村合併について」**であります。市町村合併新法下の中で、山梨県市町村合併推進審議会より依頼のあった、市町村合併協議会等に係る意見聴取のための事前質問書を12月1日に提出し、来る12月14日は、県審議会に出席し、合併問題に対する質問等に答えてまいります。私としては、当分の間は、町単独で行政を運営していくことは、議会及び町民の総意と受け止めております。

拡幅工事予定の町道三ツ峠線

西桂町職員給与条例等の一部改正ほか
全議案が全員賛成にて原案承認、可決される

平成17年11月臨時会本会議

11月臨時会は平成17年11月25日に招集され、同日に本会議、連合審査会が開催され、１日間の会期をもって、同日閉会いたしました。

町執行部より専決処分１件、条例改正４件、補正予算１件が提案され、全ての議案が全員賛成にて原案のとおり承認、可決されました。

11月臨時会 審議案件

［専決処分］１件

承認13　専決処分事項の報告（高尾碩弥文庫基金の設置、管理及び処分に関する条例の一部改正）

○「ＵＦＪ信託銀行」が「三菱信託銀行」と合併し、平成17年10月１日から「三菱ＵＦＪ信託銀行」となることに伴う専決処分。

［条例］４件

議案41　西桂町職員給与条例等の一部改正

○人事院勧告に伴う給与改定

議案42　西桂町議会議員の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正

○議案41と同様

議案43　西桂町長等の給与及び旅費条例の一部改正

○議案41と同様

議案44　西桂町教育長の給与等及び旅費に関する条例の一部改正

○議案41と同様

［補正予算］１件

議案45　平成17年度西桂町一般会計補正予算第４号

○別記説明

11月臨時会日程

18日**議会運営委員会**

25日**本会議開会**

◇町議案一括上程（承認13、議案41～45）

一括説明・一括質疑

◇常任委員会付託

連合審査会

付託議案審査

本会議再開

◇付託議案総務委員長報告（承認13、議案41～45）

一括質疑・討論・採決

会　計　名	補　正　額	補正後の予算総額
議案1　一般会計４号補正	**154万3千円**	**17億6千442万7千円**

○人件費関係の追加　　１５４万３千円

人事院の給与勧告に伴う人件費関係の追加計上です。

12月定例会日程

12月２日**議会運営委員会**

９日**本会議開会**

◇町長所信表明

◇町長議案一括上程（議案46～54）

一括説明

◇常任委員会付託

連合審査会

付託議案審査

16日**本会議再開**

◇付託議案総務委員長報告（議案46～54）

一括質疑・討論・採決

◇一般質問（滝口（新）議員・宮下議員）

いきいき交流会（倉見ほほえみの会）

あなたの請願・陳情は

全議員に配布しました

陳情４　予算要求実現、「憲法九条と暮らしを守る」要請書

○提出者

・県民要求実現大運動実行委員会

○要旨

今日、県民と自治体を取り巻く環境は、大変厳しくなっています。２００６年山梨県予算要求実現・憲法99条にもとづく憲法遵守・勤労者政策の充実等を要請する。

一般質問 変わる!! 介護保険の仕組み 利用者と共に理解を

滝口新一朗 議員

問 平成18年4月より実施される地域支援事業の取り組みは

答 老人保健事業と福祉との連携を図りながら事業に取り組む

問 平成12年4月以来、高齢者を社会全体で支えてきた介護保険の仕組みが、本年6月成立した改正介護保険法により大きく改正されました。

主な改正は、新予防給付の創設、地域包括支援センターの新設によるケアマネジメントの実施と、各種相談窓口の設置、在宅と施設間のサービス利用者の負担公平化のため、施設の居住費・食費を保険対象から除き、原則自己負担制の導入、通所中心のショートステイ等を組み合わせた小規模多機能型居宅介護、夜間対応型訪問介護等の地域密着型サービス創設、サービスの質的向上のため事業者の情報開示徹底、業者指定（6年）とケアマネジャーの資格（5年）の更新制導入と研修の義務化等々、大幅な制度改正が打ち出されております。

そのうち今回の改正の重要な柱の一つであり、18年4月より施行されます新予防給付並びに地域支援事業について、その重要性を利用者と共に理解していくためにも具体的な事業展開、取り組みについて伺います。

町長 介護予防事業の取り組みについてですが、介護保険法が改正され平成18年4月より要支援・要介護状態になる前から介護予防を推進するとともに、地域における包括的・継続的なマネジメント機能を強化する観点から地域支援事業が開始され、「介護予防・包括的支援・任意事業」を実施することとなり、市町村に包括支援センター設置が義務付けられました。

事業の内容は、65歳以上の高齢者を対象に、要介護状態及び要支援状態となることの予防や要介護状態等の軽減若しくは悪化の予防、また、健康で活き活きとした生活や人生を営むことができるよう支援することを目的に、特定高齢者施策、一般高齢者施策、総合相談支援、権利擁護等さまざまな事業を展開していかなければなりません。

地域包括支援センターの職員の規定は、人口5千人未満の町村では保健師・介護福祉士等の専門職が他の業務と兼任でもよいとされていますが、町では、保健師1人を増員し地域包括支援センターの保健師として配置する予定でおり、現在の老人保健事業と福祉との連携を図りながら事業に取り組んでいく所存であります。

また、新予防給付サービスでは、「本人のできることはできる限り本人が行う」ことが重要であり、介護予防サービスにおいては、目標指向型・日常生活の活性化を図ることが盛り込まれており、機能訓練、口腔ケア、閉じこもり予防対策を中心にサービス充実を図ります。さらに、既存の認知症高齢者グループホームを地域密着型サービスとして近隣の施設を認定する予定でおりますので、これまで同様、利用することが可能となります。今後も事業者の指導等を適切に行うとともに、改正後の介護保険制度について、広報・通知等で住民と利用者に周知を図ってまいります。

いきいき交流会（上町二葉会）

一般質問 地方交付税の見直しは必至 単独運営維持に向けて

宮下友義 議員

問 平成18年当初予算編成の基本的な考えは

答 徹底した歳出の見直しによる財政の健全化を図る

問 三位一体改革での今後の焦点は、地方交付税の見直しとなることが必至の情勢であります。当町においては山梨県が行った財政分析では数年以内に運営が立ち行かなくなるであろう等の報道がありましたが、町の地域事情や住民の意思を反映していないものと考えております。町長は、行政コストが低額で済んでいるから今後も単独運営を維持できるとしておりますが、来年度の当初予算編成についての基本的なお考えをお尋ねいたします。

町長 平成18年度当初予算編成の基本的な考え方についてですが、当町においては、町内企業の業況が国の予測している景気動向と必ずしも一致しないことや、地方財政計画の概算額からみると、さらなる地方交付税の減額が見込まれることから、町民ニーズを充分に満足させる歳出を賄い得る財源の確保は難しい状況であります。このように、厳しい財政環境にあるとはいえ、「活き活き西桂」の実現に向け積極的に施策を展開し、町民の期待に応えていく必要があります。このため、平成18年度予算は、三位一体改革などの国の動向を見極めながら、徹底した歳出の見直しによる財政の健全化を図り、将来にわたり安定した財政運営を推進するため、現在、策定中の行財政改革を着実に実施し、事業の成果や施策の優先度を厳しく精査して、財源の重点的、効率的配分を行うなど創意と工夫を重ねた上で、「活き活き西桂」の実現に向けた施策は、積極的に計上し、次の方針により編成します。

第1に、三位一体改革推進の町に対する具体的な影響を把握し、今後の地方財政対策、経済情勢の推移等に留意して編成する。

第2に、「活き活き西桂」に基づいた施策は、重点的かつ着実にその推進を図る。

第3に、今まで以上に創意・工夫を凝らし、スクラップ（事業の見直し）・アンド・ビルド（事業の新規拡大）の原則に基づき、既存事業の見直しを行った上で計上する。

第4に、既存の事務事業は、原点に立ち返り、事業の必要性、事業効果、行政と民間の適切な役割分担など、総合的見地から検討を加え、廃止、縮小、整理統合、効率化を図り、限られた財源の重点的な配分に努める。

第5に、三ツ峠グリーンセンター経営は、集客力の向上・財源の確保・好感を持たれる接客業務に努め、指定管理者制度の導入も検討する。

第6に、公共事業は、個性と活力ある地域の整備、生活環境のレベルアップなどの視点に立ち、必要性、優先性、効果を十分に検討し、重点化、効率化に努める。

第7に、町単独補助金は、行財政改革の見直しの観点を踏まえ、補助目的や行政効果などを十分に検討し、積極的に見直しを進めることとする。

以上、7項目について、職員に対し指示したところであります。

グリーンセンターでの産業祭り

相次ぐ痛ましい事件　実行性のある安全対策は

問　児童生徒の安全確保については

答　家庭や地域が連携を密にし児童生徒の安全確保を

問　児童生徒の安全確保について、お尋ねいたします。

子供たちを巻き込んだ痛ましい事件が相次いで起きております。各地域や学校等で安全確保に向けた体制整備が図られている中で発生した事件であり、幼い子供を持つ日本中の保護者に大変な恐怖と不安を抱かせております。このような痛ましい事件を二度と繰り返させてはならないと思うところですが、実行性のある安全対策についてお伺いいたします。

町長　児童生徒の安全対策についてですが、いくつかの分野の中で対策を講じております。当小・中学校には県から指示・指導のもとに危機管理マニュアルがあります。地震・台風等の自然災害及び火災・不審者対策に対応して定めており、避難訓練、防犯・防災訓練の実施を関係機関の指導をいただき実施をしております。これらは、教職員の安全対応能力の向上と、児童生徒への適切な指導の取り組みであります。両学校については、防犯監視カメラが設置してあり、学校来訪者に対しては職員室で見ることができ、有効活用されております。また、小中学生には防犯ブザーの配布もしてございます。

続いて、通学路の安全確保でありますが、防犯灯をナトリウム灯に替えさせていただき、安全で明るい町づくりの推進を図りました。現在も各区から設置要望があり、点検をする中で実施をしております。さらに、桂川公園を中心に小学生の通学路の確保もいたしました。本年度からスクールガード1名を配置し、登下校の際の安全確認と指導をいたしております。

道路環境整備についても、交通安全対策も含めて推し進めており、今期議会において可決のとおり、三ツ峠グリーンセンター周辺の竹やぶ等を伐採し暗がりをなくし、犯罪を未然に防ぐことを兼ねて進めております。また、狭小で暗い道を解消させようと町道宮下中野線拡幅事業により安心した通学路の確保が出来るよう進めています。いずれにいたしましても、児童生徒の安全確保については、家庭や地域の関係機関・団体との連携が必要不可欠であります。小学校においては、保護者に対して個別懇談を実施し、安全確保の指導をいたしました。また、ＰＴＡ役員とも協議する中で、地域のボランティアによる学校内外の巡回・見守りを考えているとのことであります。

さらに地域の方々にも周知啓蒙チラシを作成し配布をいたしまして、ご協力の要請と見守り散歩の実行をお願いいたしました。

私は、常日頃から「あいさつ・声かけ運動」が明るい町づくりの原点と感じており、西桂町青少年育成町民会議の方々が年間を通し実施していただいておりますことに感謝をいたしております。幸い、今年度は学区の中での不審者・変質者の出没の情報はありませんが、地域には、子ども110番の家が52戸あり、警察署の指導のもとに、この方々も体制を整えてくれております。

町内の全家庭の皆さんが子どもたちを守る家庭になっていただきますようお願いし、その実現に行政推進を図ってまいる次第であります。

安協による交通安全運動

きれいに伐採された竹薮（グリーンセンター付近）

みんなの声

西桂町議会では、議会だよりを通じて町議会や町に望むこと、議会だよりを読んだ感想などを募集しています。
皆さんの貴重なご意見・ご感想などを今後の議会活動に反映させてまいりますので、積極的なご参加をお願いいたします。

ツルタの隣の郷土公園が草が多くて、子供が遊びたがりません。定期的に管理してもらえないものでしょうか？

粗大ゴミの回収を、もう少し考えてほしい。運搬するのも大変だし、細くするのも大変なのでなかなか捨っていけません。よろしくお願いします。

中学校の体育館は、お年寄りも利用することが多いので、屋外トイレができてよかったと思います。

生活習慣病の事を取りあげたページをつくって下さい。

町民とのコミュニケーションのため
対応も目線で
階も明かるく
二階窓口では階段は
お年寄も大変だし……

実家に帰って来て読ませてもらいました。
当町議会だよりは
コンクールでたびたびすばらしい賞を
受賞しています。
小さい町でも頑張れば出来る事の
証しだと思います。
おめでとうございました。

前留市よりの帰り中央道の高架を過ぎて、町の中心部へ向かうと東西の中心部の活気にくらべ急に淋しく感じます。花を植る等一工夫必要ではないでしょうか

写真部門・優秀賞に入選されたことを新聞で知り本当に嬉しく思いました。おめでとうございます。今後尚一層の切磋琢磨研鑽を念じます。

犬の散歩時の犬のフンのあと始末をしっかりと飼い主の責任です。
放送等で知らせる様に
住み良い西桂町を
作りましょう

三ツ山峠からの下山の方に駅への道順を度々聞かれます。
標識が下方(地面)に設置されている為木々等に遮ぎられ遠路からは分りにくい様です。
上方に当る電柱等の利用は不可能でしょうか。

先日、ダルマ石付近迄行って来ました。
途中冬桜がきれいに咲いてました。
もう少し本数がほしい?!

お答えします

「みんなの声」のご意見・ご質問に回答いたします。

問 ツルタの隣の郷土公園が、草が多くて、子供が遊びたがりません。定期的に管理してもらえないものでしょうか。

答 シルバー人材センターに、年3回、草取りを委託していますが、なるべく住民の方に楽しんでもらえるように努力します、とのことです。

問 先日、ダルマ石付近迄、行って来ました。途中、冬桜がきれいに咲いていました。もう少し本数がほしい？

答 桜の木が大きくなると、もっと良くなると思います。本数については、地理的条件などにより、ご容赦ください、とのことです。

地域で活躍する団体を訪ねて その27

糸の音会の皆さん

訪問先 糸の音会

［取材　滝口（新）・若林］

問　正式な団体名・代表者と名前の由来を教えて下さい。

皆さん　団体名は、糸の音（ね）会です。代表者は山崎泰洋（西桂織物工業協同組合の青年部会長）さんです。

問　どのような方が会員となっているのですか。

皆さん　西桂在住の機（はた）屋・染色屋・紋紙屋など、糸に関わる職業の人が会員になっています。

問　会員数と活動内容は。

山崎　現在会員は、14名です。活動としては、毎週月曜日（定例会）に商工会2階の西桂織物工業協同組合事務所に集まっています。従来は、織物の新商品開発を一番の活動目的としてきました。4・5年前からは、展示会などへの出展。去年からは、糸の音会の「糸の音」が良い名前なので産地ブランドを創ろうと、山梨ブランドチャレンジ事業に名乗りを上げまして、平成16・17年と実施しています。

問　町でも西桂織物工業協同組合へ、350万円補助していますが、糸の音についてはどうですか。

皆さん　今、西桂織物工業協同組合青年部（糸の音）では、その内100万円を頂いています。先日のジャパンクリエーションで約100万円掛かります。その他に小さい展示会（小さい展示会については自費）が2つ程あります。

問　町行政と町民に望むことは。

皆さん　西桂町をアピールし、産地に良い織物があり、富士五湖に遊びに来たついでに、西桂町に寄ってお土産を買って貰うような事を目指しています。山梨ブランドチャレンジ事業（平成17年は、ホームページを拡充し、来年からアピールできるように準備しています。）が2年間で終わりますので、平成18年からの運営費等で頭を悩ませています。また、「糸の音」の商標登録をしないと、ブランドとして真似をされても文句をいえません。これからは、商標登録をしたいと思います。

東京ビックサイトでの「糸の音会」

議会だよりや議会全般、町行政についてのご質問・ご意見・ご感想をお待ちしています。
寄せられましたご質問・ご意見等には議会広報編集委員が責任を持ってお答えいたしますので、下記までお寄せください。

〒403-0022　西桂町議会広報編集委員会　TEL 0555-25-2121　FAX 0555-20-2015
E-Mail　gikai@town.nishikatsura.yamanashi.jp

西桂 フォトギャラリー

新春　町内一周初詣マラソン

献血に、ご協力を！

雪の中の冬桜（三ツ峠さくら公園）

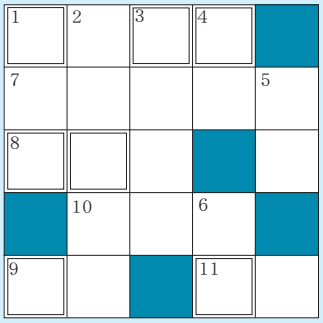
クロスワードパズル

今号の賞品：「手作り味噌」とバナジウム水のセット

正解者のうち抽選で10名の方に、写真の手作り味噌とバナジウム水（各１ケ）を添えてプレゼントします。二重枠に入る文字を並べ替えて、答えを完成させてください。

応募方法：答えと住所、氏名、電話番号、議会だよりを読んだ感想や議会へのご意見を書いて、はがき、FAX、E-Mail にてご応募ください。

締切は２月28日（当日消印有効）です。当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます。



たてのかぎ

1、西桂町〇〇〇だより
2、いくさのさなか「〇〇見舞い」
3、夜見る桜の花
4、水面・水中にうかばせる
5、アツモリソウは〇〇科の植物
6、相手の意見を不服として述べる議論

よこのかぎ

1、会議をする場所
7、緋寒桜の通称
8、建物を他所へ移し建てること
9、動物に食を与えて養うこと
10、物事の由って来る所
11、金、〇〇、銅

ヒント
議会だよりの発行人は
西桂町〇〇〇〇〇〇〇！

〒403-0022　西桂町小沼1501-1
西桂町議会広報編集委員会
Tel 0555-25-2121　　Fax 0555-20-2015
E-Mail gikai@town.nishikatsura.yamanashi.jp

編集メモ

平成18年の新春を迎え、皆様には、ご家族とともにお健やかに新年をお迎えになり、心からお喜び申し上げます。昨年の９月に、第23回県下町村議会広報コンクール審査会の席上、当町議会だより第46号、平成17年１月号が写真部門で、優秀賞の表彰を受賞いたしました。委員一同感激しております。これからも町民に解りやすく、読みやすい広報誌づくりに委員一同努力してまいる所存です。議会だよりは、町民と議会を結ぶ重要な役割を持っております。

これから寒さが厳しくなります。健康にご留意なされ、議会だより編集に対するご意見、ご感想をお寄せ願いたいと思います。

（滝口幸雄）

編集委員長　滝口新一朗
副委員長　梅原　和男
委　員　滝口　幸雄
委　員　若林　泰置
委　員　渡辺　正一